

高松市立牟礼南小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

人間性豊かで、主体的に生きるたくましい児童の育成

【現状】

休み時間は、外で遊ぶ児童が多いが、遊びの種類は学年によって偏りが見られる。低学年は、遊具遊びが多く、中学年はドッジやサッカーをしている。高学年はサッカーが中心となっている。鬼ごっこやけいどろなどの走る遊びをしている児童は少ない。また、休み時間に図書室などで過ごし、外に出ない児童も少なくない。

週に1度全校体育の時間を取って、短距離走・縄跳び・持久走を中心に運動を行っている。

【本校の課題】

- ・多くの学年で長座体前屈と反復横跳びが全国平均を下回っている。
- ・体力テストの50m走においては、全国平均か少し下回っている学年が多い。
- ・どの学年でも、運動を積極的に行う児童とそうでない児童の2極化が見られる。
- ・休み時間の遊びが固定化しており、多様な遊びをしていない。

取り組み

パワーアップ体操

体力テストの結果から、児童に足りない運動を取り入れた本校独自の体操を考案し、体育の授業で活用している。

全校体育

1学期は短距離走、2学期はリレーと縄跳び、3学期は持久走を行い、縄跳びと持久走では校内で大会を行っている。

体育の授業の改善

教員の研修で、体育の実技研修（跳び箱・マット）や新しい教材の紹介などを行い、体育の授業を通して運動好きを増やしていきたい。

【目標】

- ・体力テストの結果において、全学年の全ての項目で、全国平均かそれ以上を目指す。
- ・休み時間の遊びが多様にする。
- ・運動が好きと答える児童がH30年度までに100%にする。